

授業科目名	高齢者看護学概論		担当教員	◎長江弘子、青山美紀子、 山田案美加、新田静江、濱崎圭一	科目ナンバリング NS261
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

高齢者の健康増進やQOL(Quality Of Life)の向上についての学問的追求と知識の向上を図ることは、長寿社会を迎えた日本、特に高齢化率の高い南房総地区においては重要な課題である。このコースは、高齢者を身体・生理的側面、ライフステージ、社会的側面から理解し、適切な看護を実践するための理論と技術を学ぶ。

【達成目標】

1. 長寿化を社会現象として捉え、それに伴う社会の対応と課題について考察することができる。
2. 高齢者を身体的生理的側面、心理・精神、スピリチュアル的側面、社会環境的側面から考察し、高齢者の特徴とその生活について理解することができる。
3. 高齢者のための看護に有効な理論について考察することができる。
4. 終末期にある高齢者の看護とその家族への援助について理解できる。
5. 高齢者とその家族の抱える問題や課題について考察することができる。
6. 高齢者の権利擁護と倫理的課題について理解を深めることができる。
7. 老いを生きるを理解し支援する看護の役割について討議することができる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|---|------------|
| [01] 講義のオリエンテーション 老年期を生きる人の理解と老年看護 [i] | (長江) |
| [02] 高齢者の暮らしを支える社会資源・厚生統計からみた高齢者像 [ii] | (新田) |
| [03] 課題① 高齢者擬似体験を通して生活を理解する [iii] | (山田) |
| [04] 老年看護に活用できる理論・アプローチ [iv] | (新田) |
| [05] 演習：高齢者の体力測定体験(課題②説明) | (青山・山田・長江) |
| [06] 演習：高齢者の体力測定補助と交流 | (青山・山田・長江) |
| [07] 演習：高齢者の体力測定補助と交流 | (青山・山田・長江) |
| [08] 心理・精神的側面の加齢変化と影響① [v] | (青山) |
| [09] 課題③「映画鑑賞」 心理・精神的側面の加齢変化と生活への影響② | (青山) |
| [10] 高齢者の健康生活の支援(ICF) [vi] | (長江) |
| [11] 高齢者とその家族への看護 [vii] | (新田) |
| [12] 高齢者の人生の最終段階における看護(エンドオブライフケア) [viii] | (新田) |
| [13] 課題④ 高齢者の豊かな地域とは
高齢者の権利擁護と倫理的課題(鴨川市の取り組みと寸劇) | (濱崎) |
| [14] 課題④ 高齢者の豊かな地域とは
高齢者の権利擁護と倫理的課題(鴨川市の取り組みと寸劇) | (濱崎) |
| [15] 課題⑤ 討議「面接体験」を経験して、高齢者看護を学ぶ | (長江・青山・山田) |

【教科書】

水谷信子他監修 三重野英子他編集(2022). 最新老年看護学第4版 日本看護協会出版

【参考書】

適宜提示

【評価方法・評価基準】

- ・試験成績 80%(小テスト合計(40%)+定期試験(40%))
 - ・課題学習 20%(高齢者擬似体験、面接体験、権利擁護、など)
- 合格は、試験成績が60%以上とする。※60%未満で再試験対象者となる。再試験は1回のみ
- ・成績は試験得点合計が60%以上で課題学習点を含めた総合点

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業内容に合わせて事前に教科書等学習を深める。
事後学習：学習内容の復習のために、講義毎に小テストを実施する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

小テストの問題は回収せずに正解を1週間掲示し、レポートは評価点を記載して学期内に返却する。

【備考】

特になし